

「計画」

大津市立青山小学校

令和8年度 我が校の学力向上策

【県目標】第Ⅲ期学力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学力を高める。

【令和8年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】

第4期大津市教育振興基本計画

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

【学校の目標】

○自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす青山っ子

≪校内研究≫「対話を通して学びを深めることができる子どもの育成～教科の特性を生かした対話をしたくなる授業づくり～」

【現状と課題】

○視点1

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現につながる対話を中心とした授業改善の取組を進める必要がある。

(2) 学びを深めるための手立てとして1人1台端末を活用した授業力の向上が必要である。

○視点2 学び意欲を引き出せる学習集団、支持的な学級風土を築く必要がある。

○視点3 良質な授業改善、OJT等の学び合える教師集団の風土を醸成し、学校力・教師力向上に努める必要がある。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」 **肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①教科の特性を生かした学年の共通実践により、対話を通して学びを深めることができる子どもを育成する。	①児童質問調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の肯定的評価の割合85%以上。
②目的や意図をもって端末を活用し、有効な活用法を学年や学校全体で共有する。	②児童質問調査「ICT機器活用に関する質問項目(複数)」の肯定的評価平均値の割合90%以上

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①自ら目標を立て、自分の考えを形成できる支援に努め、安心して表現できる学級経営に努める。	①児童学校評価「友だちと楽しく過ごし、みんなのことを大切にしている」の肯定的評価90%以上
②学習場面において、友だちと考えを聴き合うことで、ひとりひとりを大切にして、温かく支持的な学習集団を育てる。	②児童学校評価「青山小学校の先生は、ひとりひとりを大切に教えてくれる」の肯定的評価90%以上

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①OJT推進リーダーを核とし、各教員による研修会の実施を通して高め合う教師集団づくりを推進する。	①教職員学校評価「教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上」自己評価2.2以上
②コミュニティスクールの機能を生かしながら、学校・家庭・地域の協働と子どもを育てる環境の充実に努める。	「高め合う教師集団づくりの推進」自己評価2.2以上 ②保護者学校評価「学校は、学校だより・学年・保健室等からの通信やホームページ等で学校の様子や日頃の教育活動がよくわかるように知らせている」肯定的解答85%以上 ③OJT研修を含む職員研修の実施年間50回以上

◇「学力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・4月の職員会議において、学校長が教育目標や学校経営方針について明確に伝え、視点1については研究主任を中心とした研究推進部、視点2、3については教務部が中心となって呼びかけ、全教職員で取り組む。
- ・第1回校内研究会において、本年度の重点を全職員で共有し、「他者との対話」についての理解を深める。今年度は、学年で共通実践する教科の特性を活かした言語活動の工夫を通して、主体的に考えを表現する子どもの育成を目指す。また、学びのステップアップ事業CBT調査研究の指定を受け、計画的に調査研究を行い、児童一人ひとりに「個別最適化」された教育を目指す。
- ・毎週月曜日に行ういじめ防止対策会議において、全教職員で全校の子どもや学級の様子を共有する。教職員が声を掛け合い高め合いながら、学び意欲を引き出す学習集団づくりを行う。教務部を中心に、各学年の学習や学校生活の様子と取組の意図をHPで随時発信し、風通しのよい学校づくりに努める。
- ・コミュニティスクールでの熟議を重ね、学校・家庭・地域の協働を推進するとともに、子どもを育てる環境の充実に努める。